

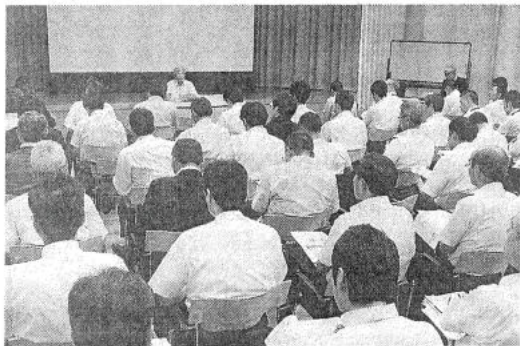
生命、財産守る使命再確認

県コンクリート診断士会総会

新潟県コンクリート診断士会（会長・地濃茂雄 新潟工科大学名誉教授）は6日、ほんぼーと新潟市立中央図書館で17年度通常総会を開催した。冒頭、地濃会長は、九州北部で大雨による災害が発生していることに触れ、「地震や津波、洪水などの災害がいつ起きてもおかしくない脆弱な国土」と指摘した上で、「自然災害を正しく恐れ、認識を新たに、県民の生命、財産を守るコンク



あいさつする地濃会長



事業計画などを承認した総会

リート診断士会の使命を再確認する状況にある」と強調し、会設立10周年

に向けて一層の技術研さん呼びかけた。

議事では、16年度事業報告・収支決算、17年度事業計画・収支予算などの議案を審議し、原案通り承認。本田明副会長

（水倉組常務取締役）が日本コンクリート診断士会総会に關して報告した。事業計画によると、

8月と11月ごろに下・中越地区で現場研修会を2回開催し、12月ごろには技術セミナーを予定。国および県、市町村への同会と診断士制度活用のため

めのPR強化や、会設立10周年に向けた記念事業（18年開催予定）の計画・準備を進める。

総会後、講演会が開かれ、福井県コンクリート診断士会の石川裕夏会長が「福井県コンクリート診断士会の取組みと福井県の維持管理の現状」を説明し、新潟県コンクリート診断士会員の小林秀一氏が「ストップネ工法について」を紹介した。